

事務事業名		特定地域生活排水処理施設整備事業		所属部	上下水道部	所属課	下水道課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉		所属G	整備維持グループ	課長名	須田 弘	
	施策名	〈11〉下水道の整備		担当者名	藤原 敦	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4610	
	目的	対 象	市民	意 図	衛生的な生活環境の中で暮らすことができる。			
	基本事業名	〈030〉下水道整備の推進		予算科目	会計	款	大事業	大事業名
目的	対 象	下水道未整備地区の人	意 図	下水道に接続できるようにする。			中事業	中事業名
					2 5 1 0 0 1		特定地域生活排水処理施設整備事業	
					2 0 0 5 0 1		特定地域生活排水処理施設整備事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 16 年度～ 31 年度 )
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
浄化槽の設置 単独浄化槽から合併浄化槽への切替の推進

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 合併浄化槽の設置・・・48基 (うち単独槽から合併浄化槽へ切替・・・5基)	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 合併浄化槽の設置・・・30基			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 設置基数	基	2,356	2,418	2,466	2,496
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	雲南市内の集合処理区域外のすべての住民	ア 集合処理区域外人口	人	16,032	15,346	15,402	15,402
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)	
汚水を浄化する。生活環境を改善する。	ア 浄化槽設置人口	人	10,167	10,299	10,078	10,168	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)		② コストの推移		単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
工事請負費	51,525千円	財源内訳	国庫支出金	千円	52,950	47,610		13,470
その他経費	1,710千円		県支出金	千円				
計	53,235千円		地方債	千円	43,300	12,700	48,700	24,200
			その他	千円	9,460	6,526	4,535	2,740
			一般財源	千円				
			事業費計(A)	千円	105,710	66,836	53,235	40,410
		人件費	正規職員従事人数	人	7	7	7	
			延べ業務時間	時間	720	780	680	
			人件費計(B)	千円	2,799	3,075	2,664	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	108,509	69,911	55,899	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
合併前に各旧町が事業採択を受け、合併後下水道課で業務を執行している。H17年度より汚水処理施設整備交付金事業へ、H22年度からは循環型社会形成推進交付金事業へ転換している。	新製品の積極的な採用。低炭素社会対応型浄化槽整備推進事業の導入(少電力プロワの設置)。単独浄化槽からの切替。	特になし。

事務事業名	特定地域生活排水処理施設整備事業	所属部	上下水道部	所属課	下水道課
-------	------------------	-----	-------	-----	------

## 2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	成果は、対象施設すべての宅内排水を浄化槽へ接続し、汚水処理を行えるようにすることであり、引き続き単独浄化槽から合併浄化槽への切替を推進する必要がある。																							
	<input type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	全戸が生活排水を処理できるようにし、清らかな水環境へつなげることが目的であり、廃止した場合目的が達成できなくなる。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業はなく、統廃合・連携は不可能。																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	1基ずつの事業であり、標準的な工事を想定した設計となっており、効率的なものとなっている。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているので人件費の削減余地はない。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	集合処理区域外の市内地域を対象としており、各町分担金の金額の違いがあり、一本化の要望はあるが公平性は保たれている。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価の 総括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
		B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
		C 効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
		D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																							
単独浄化槽については、合併浄化槽への切替を行っていく。																										
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>●</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上		●		維持			×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		●																							
	維持			×																						
	低下		×	×																						
<p>廃止・休止の場合は記入不要。          コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下は改革・改善とはならない。</p>																										

## 3 今後の方向性【PLAN】